



The Chemical Society of Japan

## Chemistry Letters

1-5 Kanda-Surugadai, Chiyoda-ku Tokyo, 101-8307 Japan

Phone: +81-3-3292-6161 Fax: +81-3-3292-6318 Email: chemlett@chemistry.or.jp

Web: <http://www.csj.jp/journals/chemlett/>

2011年3月25日

### 速報誌 Chemistry Letters の震災復興に対する取り組みについて

この度の東北地方太平洋沖地震で数多くの尊い命が瞬時に失われたこと、心痛極まりない出来事でした。被害に遭われた方々にお悔やみ申しあげますとともに、不幸にしてお亡くなりになった方々のご冥福を心よりお祈り申しあげます。

被災された皆様とご家族の方々が、震災にて心身ともに大きな打撃を受けられたうえ、ひきつづき不便で不自由な生活を強いられておられることは、居たたまれない思いです。心よりお見舞い申しあげる次第です。

報道されている被災地域の惨状を目の当たりにするたびに、多くの投稿者・購読者の方々がこの地域を拠点としてご活躍されていたことを思いますと、まさに愕然とした気持ちになります。皆様のご無事を心から祈る毎日です。また、危険を顧みず重要な任務を遂行されている方々、被災地の復旧に全力で携わられている方々に深く頭の下がる思いです。一日でも一刻でも早い復興を、心からお祈り申しあげております。

地震発生からはや二週間が経過しようとしております。日を追うごとに拡大する被害と被災地の惨状を見て、被災地にいないわれわれができることとして、幾許かの募金をしたり、節電に協力したり、あるいは救援物資を送るなどはできますが、これらだけでは十分ではありません。

われわれとして、今できることは何なのか？われわれにしかできないことは何か？を真剣に考えた結果、以下の4点をご提案したいと存じます。

- (1) 被災地域からの投稿者に対しては、お申し出があった場合、2011年の掲載論文について Web 閲覧における全ての制限を解除する OpenAccess 権を付与するとともにその他掲載に関連する費用を免除します。
- (2) 被災された東北地方の各県や茨城県ほかの大学図書館に対して、損傷を受けた既発行分の *Chem. Lett.* 誌をお申出により寄贈いたします。(対象:2009, 2010, 2011年分の希望号。一括送付の場合には数に限りが生じます。)

- (3) 被災された個人に対し、紛失もしくは損傷を受けた過去の投稿論文の記録を補う目的で過去に *Chem. Lett.* にご投稿戴いた論文を、ご希望に応じて一括して PDF データにて纏めて贈呈致します。
- (4) *Chem. Lett.* オンラインジャーナル PPV で得た収益の一部を被災された方の支援に使わせていただきます。

上記についての詳細は事務局 (Tel 03(3292)6165, E-mail: [chemlett@chemistry.or.jp](mailto:chemlett@chemistry.or.jp) 速報誌担当)までお問い合わせください。

このたびの大震災の結果、全国的に自粛ムードが広まっており、このままでは被災された地域はもとより、日本全体の成長が停滞し、経済活動、学術振興、その他、多くの側面で将来展望が不透明となって、負の連鎖が一気に始まりかねない状況にあります。

従前どおり、*Chem. Lett.* では、皆様の研究活動の貴重な成果を、海外・国内を問わず、全世界に向けて、正確かつ迅速に発信し浸透させるため、着実に継続的な努力を惜しまない覚悟でおります。

化学をはじめとする学術振興活動を活性化させることも、震災復興の手助けになると信じ、*Chem. Lett.* 編集委員会一同、一層尽力してまいります。

末筆となりましたが、改めて、被災者皆様とのその地域の一日も早い復興を心よりお祈りいたしております。

公益社団法人 日本化学会  
速報誌 *Chemistry Letters* 編集委員会  
委員長 檜山 爲次郎